

「愛西市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進委員会」による令和2年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した事業の検証について

書面開催:令和4年2月16日(水)

【効果検証結果（全27事業）】

A	事業効果・手法について、適当であった。	23事業
B	事業効果はあったが、効率性・達成度がやや劣った。	3事業
C	有効性がやや劣った。	1事業
D	事業として不適切であった。	—

【委員からの意見】

○臨時交付金、国・県補助金・一般財源を上手に活用し、種々の施策を実行したことは、大変よいと感じる。

○上水道料金免除は、全戸を対象にした施策であるため、1戸当たりの家計支出の軽減額はわずかとなり効果を実感しにくい。そのため、本当に困っている世帯に重点配分した方がよいのではと感じた。

○小中学生の家庭に対しての負担軽減策は、子育てに大変な世帯に対して非常に有効だと感じる。

○農作業省力化設備緊急整備は、良い施策だと思うが、制度活用業者が19業者と少数であった原因について更に解析されると、次の施策へ繋がると感じる。

○公立学校のデジタル推進について、先生の理解度、先生と生徒のミスマッチ、理解が不足している生徒の対応等、実施状況を追跡し、毎年度効果度及び支援方法を検証する必要があると考える。

○デジタル化の推進について、スタートしては良いと感じる。更に促進すると良いと思う。